

令和4年度 経営発達支援計画事業 報告書 [事業 NO.1]
 小規模企業景気動向調査 第3四半期 (R4年10～12月)

①業種及び地域別景気動向

業種	製造業		建設業	卸・小売業			サービス業			
	食料品等	機械金属		耐久消費その他	食料品	外食	旅館	理美容その他	運輸	
町内	売上額	↗☀	↗☀	→☁	→☁	↗☀	→☁	→☁	↘☁	↘☁
	仕入単価	→☂	→☂	→☂	↘☂	→☂	→☂	→☂	↘☂	→☂
	採算	↗☀	↗☁	→☁	→☂	↗☁	↗☀	↘☂	↘☁	→☂
	資金繰り	↗☀	→☁	→☁	→☂	↗☁	↘☁	→☁	↘☁	↘☂
	業界の業況	↗☀	↗☁	→☁	→☂	↗☀	↘☁	↗☀	→☁	↘☂
北信	↗改善		↗改善	↗改善		↗改善	↘悪化		→不変	
県内	持ち直しの動きが続いた									
全国※	-26.8↗	-14.5↗	-35.0↗	-30.3↗	-31.7↗	-16.6↗				

(※ 景況DI値で表示、+値が大きいほど好調)

②景気動向報道及び特記事項

≪町内≫

- 油の値段が上がり過ぎてメニュー価格を上げなくてはならない(飲食店)
- マイナンバーカードのポイント恩恵が無い(小売業)
- 高齢で廃業を検討しているが人手不足により依頼が後を絶たない(大工業)
- インボイス制度開始によりスーパーとの取引について不安がある(果物販売)

≪北信≫

- 材料費の高騰分は売上に転嫁できたが、電気料金や消耗品の転嫁は出来ていない(基盤)
- 酒類メーカーの値上げが相次ぎ、駆け込み需要で売上げが増加したが先行きが不安(酒類販売)
- 交通クーポン券により利用が促進された(タクシー)
- 資材高騰と人手不足により公共・民間工事とも苦戦している(総合建設業)

≪県内≫

- 個人消費は持ち直しの動き

≪全国≫

- 産業全体：年末需要から景況感は上向くも、採算性の改善に課題が残る
- 製造業：業種によって明暗が分れる
- 建設業：人手不足から受注工事が進まない
- 小売業：年末の需要から全業種で売上が改善するも採算が低水準で推移する
- サービス業：売上は好調を維持するも、コスト高騰から採算が悪化する

参考資料：

長野信用金庫「長野しんきん北信経済動向“すかい”」・長野経済研究所「経済月報」・日銀「経済動向」
 日本政策金融公庫「全国中小企業動向調査結果」・全国商工会連合会「小規模企業景気動向調査」